

【町内会・自治会の「見守り活動」に関するアンケート】

※ここでいう「見守り活動」とは、日ごろから周囲の方々に関心を持ち、異変等に気づき、声掛けをすることなどをいいます。

実施主体：第4期幸区区民会議 専門部会「みんなで見守りたい」

事務局：幸区役所まちづくり推進部企画課 加藤、菅野担当

電話：044-556-6612 FAX：044-555-3130 メール：63kikaku@city.kawasaki.jp

団体の名称：		町内会・自治会
記入者名：	(役職等) ()	記入日： 平成 25 年 月 日
電話番号：		— —

町内会・自治会の概要について	<p>◎貴町内会・自治会に加入する世帯のうち、マンション、アパートなどの集合住宅が占める割合はどのぐらいですか？</p> <p>※感覚的なもので結構です。（※○は1つ）</p> <p>・ 0% ・ 10% ・ 20% ・ 30% ・ 40% ・ 50%</p> <p>・ 60% ・ 70% ・ 80% ・ 90% ・ 100%</p>
	<p>◎貴町内会・自治会ではどのような活動に力を入れて取り組んでいますか。 特に力を入れて取り組んでいるもの3つに○を付けてください。</p> <p>① 自主防災組織の強化など災害に強いまちづくり</p> <p>② 防犯パトロールや防犯灯の維持管理など安心して暮らせるまちづくり</p> <p>③ 通学路での見守りなど交通事故のないまちづくり</p> <p>④ 公園や道路の清掃などの地域の美化活動</p> <p>⑤ 資源集団回収や廃品回収、廃棄物減量指導などの環境関連活動</p> <p>⑥ 祭や盆踊り、レクリエーションなどの地域の行事を通じたふれあいのあるまちづくり</p> <p>⑦ 高齢者や障害者などとのふれあいや地域での見守り活動</p> <p>⑧ 広報紙の回覧や掲示板を活用した地域での情報の共有</p> <p>⑨ 新住民などへの町内会・自治会への加入促進活動</p> <p>⑩ その他 (_____)</p> <p>⑪ 特にない</p>

<p>地域での支え合いと「見守り活動」について</p> <p>※ここでいう「見守り活動」とは、日ごろから周囲の方々に関心を持ち、異変等に気づき、声掛けをすることなどをいう。</p>	<p>◎貴町内会・自治会での様々な活動を通じて、隣近所など地域での助け合いや支え合いの意識は、どの程度浸透していると思いますか？該当するものに○を付けてください。（※○は1つ）</p> <p>① 町内会・自治会のエリアのほとんどに浸透している。 ② 町内会・自治会のエリアの半分以上に浸透している。 ③ 町内会・自治会のエリアの一部に浸透している。 ④ ほとんど浸透していない。</p>			
	<p>◎貴町内会・自治会で、「見守り活動※」を行っていますか？該当するものに○を付けてください。</p> <p>①行っている / ②過去に行っていた / ③将来行う予定 / ④行う予定はない</p> <p>◎上の質問で、「行っている」「将来行う予定」に○を付けた場合、その対象者はどのような人ですか？（※○はいくつでも）</p> <p>① 町内会・自治会に加入する全世帯 ② 高齢者（ひとり暮らし） ③ 高齢者（高齢者のみの世帯） ④ 高齢者（高齢者以外の家族も同居） ⑤ 障害者や、障害者がいる世帯 ⑥ 子どもや、子どもがいる世帯 ⑦ その他（_____）</p>			
	<p>◎特徴のある見守り活動を実践していましたら、その内容を教えてください。</p> <p style="font-size: 2em;">[_____]</p>			
	<p>◎区内で見守り活動について率先して取り組んでいる町内会・自治会、地域で活動する団体、事業者、商店などを御存知でしたら御紹介ください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">団体名等</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;">取組の内容（知っている範囲で結構です）</td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> </tr> </table>	団体名等	取組の内容（知っている範囲で結構です）	
団体名等	取組の内容（知っている範囲で結構です）			
<p>町内会・自治会活動の将来について</p>	<p>◎高齢社会において、町内会・自治会等において「役員の高齢化」など様々な問題が出てきておりますが、若年層の参画や組織の活性化に向け、どのような取組が必要だと思いますか。（※○はいくつでも）</p> <p>① 子どもを対象とした行事を充実させ、親子での参加を促す。 ② 地域全体で参加でき、比較的参加が容易な地域での美化活動の回数を増やす。 ③ 町内会対抗のスポーツ大会や芸術活動等開催を充実させ、帰属意識を高める。 ④ 町内会・自治会などの役員の負担を軽減する方法を検討する。 ⑤ その他（_____）</p>			

d 町内会等の「見守り活動」に関するアンケート調査

町内会等が実施している「見守り活動」の実態や課題を把握するため、アンケート調査を実施しました。

(a) 回答状況

53団体／70団体（回答率：76%）

《内訳》

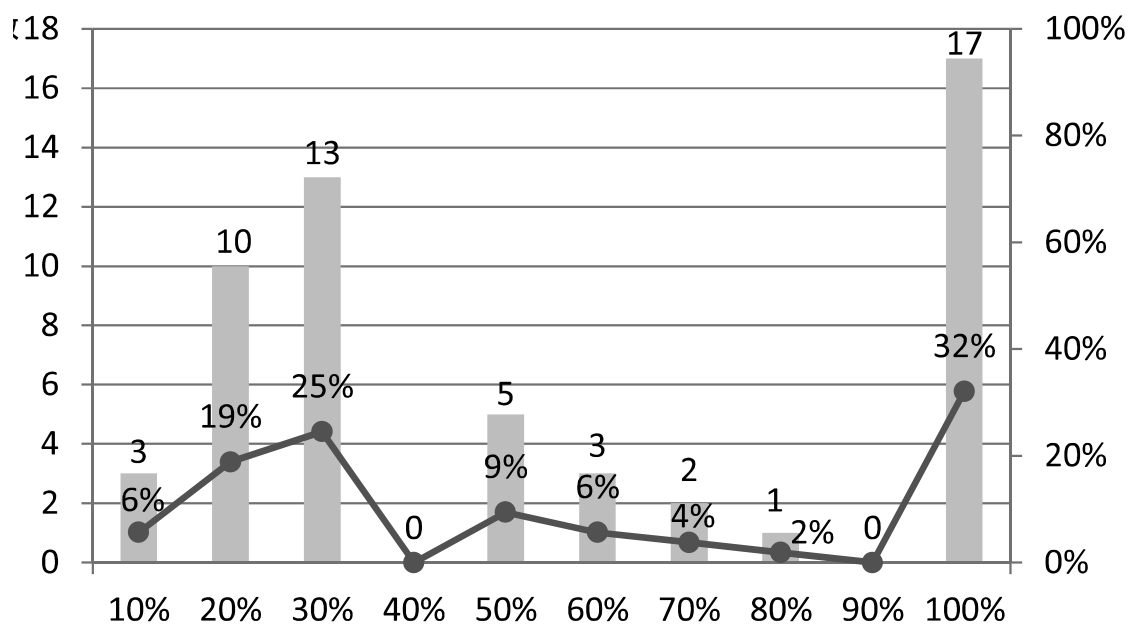
南河原地区：13団体／17団体（回答率：76%）

御幸地区：25団体／33団体（回答率：76%）

日吉地区：15団体／20団体（回答率：75%）

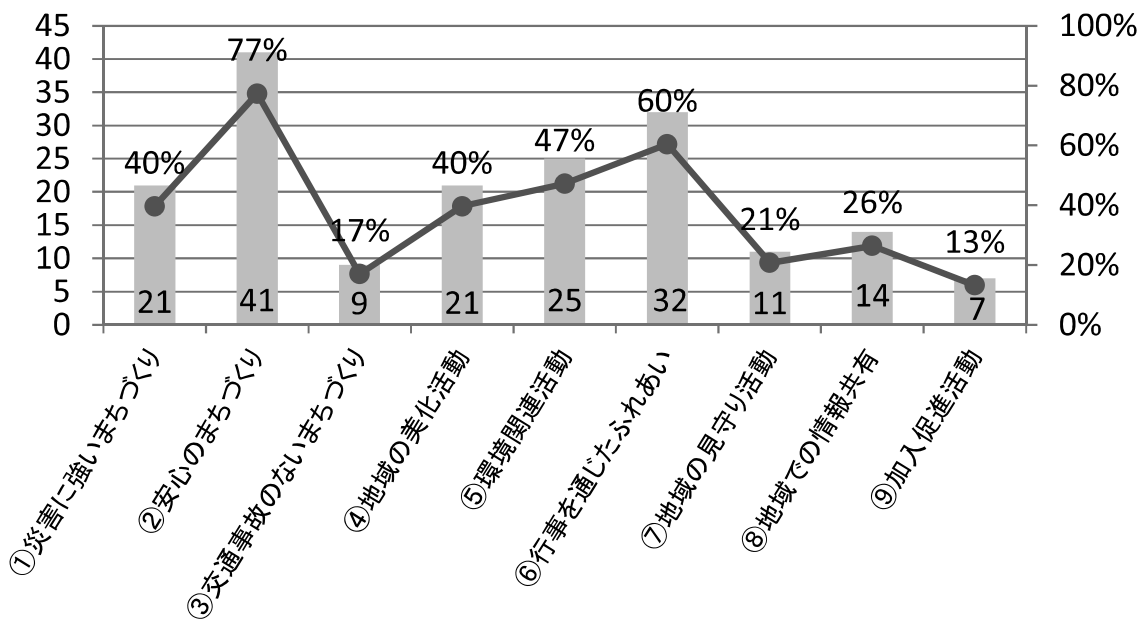
(b) 回答結果と分析

◎町内会等に加入する世帯のうち集合住宅が占める割合



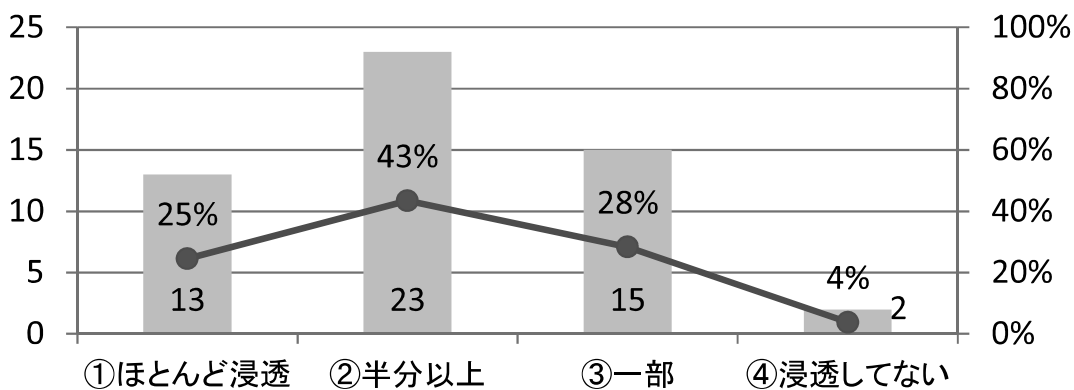
グラフからは、集合住宅単位の町内会等が多いことがわかる。そのため、集合住宅の特性に対応した見守り活動を提案できれば、波及効果が大きくなる。

◎町内会等で特に力を入れている取組（3つ選択）



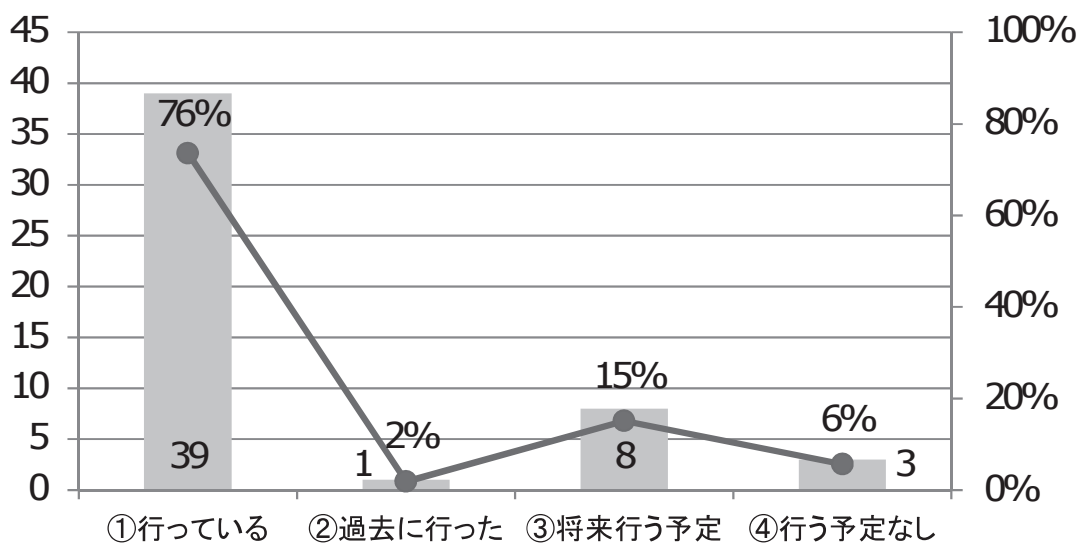
⑦の「見守り」を意識した活動に注力している町内会等は比較的少ないが、住民に直接顔を合せる活動に注力している傾向があることがわかる。そのため、現在力を入れている活動に、「見守り」の要素をプラスすることは十分可能であるものと考えられる。

◎町内会等での助け合いや支え合いの意識の浸透度



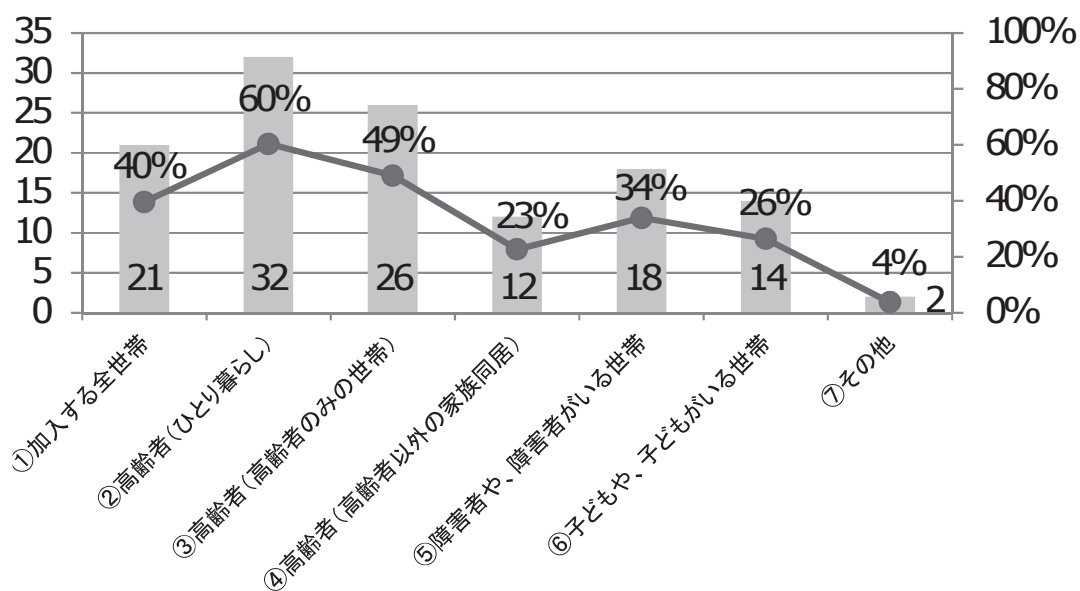
①と②を合わせると70%近くになる。そのため、現在力を入れている活動に、「見守り」の要素をプラスすることは十分可能であるものと考えられる。

◎町内会等での「見守り活動」の実施有無



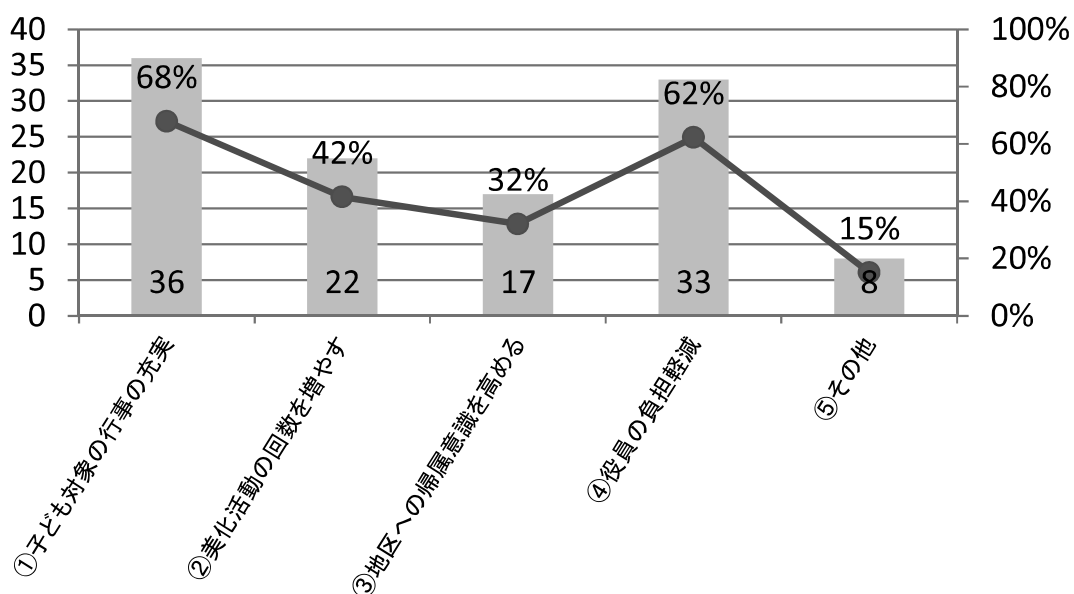
グラフからは、現在、見守り活動を実施している町内会等が多いことがわかる。そのため、「町内会等で特に力を入れている取組」の回答状況を考え合わせると、団体活動に占める見守り活動の優先度を上げてもらえるよう、普及啓発の働きかけが必要と思われる。

◎見守り活動の対象者（複数回答）



グラフからは、高齢者を対象とした見守り活動を実施している町内会等が多いことがわかる。そのため、高齢者を意識している町内会等が多く、当部会の活動方針と合致している。これまで行っていない活動を提案することができれば、実際に実行してもらえる可能性が高いものと思われる。

◎組織の活性化のために必要な取組（複数回答）



グラフから2点のことが読み取れる。

1つ目は、「子ども対象の行事の充実」が求められていることであり、このことから子どもも担い手の一員となれる活動を提案することができれば、その保護者も参加してくれる可能性ありことを示している。

2つ目は、「役員の負担軽減」が求められていることであり、このことから町内会等が行う見守り活動は、役員に負担が集中しない仕組みを考える必要があることを示しているものと思われる。

平成26年度第3回川崎区区民会議（全体会議） 摘録

日時：平成27年2月24日（火）午後6時30分

場所：川崎区役所7階会議室

出席者（敬称略）

委員 18名

赤間靖夫、新井一成、新井トキ子、石渡勝朗、岩瀬絹代、金岩勇夫、知念ジョアンナ、塚原晴美、戸村正房、中村紀美子、埜瀬晴美、朴昌浩、畑敏雄、原千代子、原田歩、深瀬欣之助、森脇卓郎、山田義孝

(欠席者1名：荒巻裕子)

参与 3名 飯塚正良、浜田昌利、西村くにご

傍聴 1名

(進行：北沢副区長)

1 開会

- 委員の出欠と会議の成立の確認
会議の公開、会議録の開示、会議の記録、広報としての写真撮影等の説明、傍聴者の確認
配付資料の確認

2 あいさつ

(大谷区長)

本日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。先日エポック中原で開催された区民会議交流会には、多くの委員の皆様の参加ありがとうございました。他区の活動の様子がよく理解できたと思うので、参考にしながら今後とも取り組んでいただければと思います。

今月は、貝塚教会での防災フォーラムや、本日の区民会議全体会、今週末には区民会議フォーラムが開催され、イベントが盛り沢山でございますが、委員の皆様には感謝申し上げます。

本日は今年度3回目の全体会議で、10月以来の開催となります。両部会の進捗状況の報告をさせていただきます。全委員が顔をあわせる数少ない機会ですので、ぜひ積極的なご発言をお願いしたいと思います。

(新井副委員長)

皆さん、本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

平成26年4月からスタートした区民会議も、もうすぐ1年が経とうとしています。両部会での取組の方向性もかなり絞りこまれてきました。本日の全体会議では、両部会の進捗状況を確認した上で、それぞれの課題解決策について、具体的に審議したいと思います。

本日も円滑に議事が進行できますように、皆様のご協力をお願い致します。

(進行：新井副委員長)

3 議題

(1) 各専門部会の進捗状況について

各専門部会の進捗状況について、「資料1：第5期川崎区区民会議「地域を育むまちづくり部会」進捗状況報告」及び「資料2：第5期川崎区区民会議「だれもがいきいき暮らす部会」進捗状況報告」を使用し、各部長が説明した。また、「だれもがいきいき暮らす部会」の審議テーマ1地域における見守り活動の充実で実施を検討している実態調査の概要案について、畑委員から説明があった。

各専門部会の進捗状況について、主な意見・コメントは以下のとおり。

<地域を育むまちづくり部会について>

(防災対策の充実について)

原委員 部会が2つあるということで、最初の頃はどちらの部会にするか、皆さん迷っていた時期がありましたが、やはり部会を縦断して課題を共有していくことが今年度の取組では重要だと思えます。

そこで、防災に関してですが、先日、2月8日にカトリック貝塚教会で外国人向けに防災フォーラムを開催しました。川崎区は多くの外国人が居住していますので、外国人向けにもどういった防災手帳が良いのかといった視点も交えながら、両部会が連携していければ良いと思います。私も地域を育むまちづくり部会の取組にも参加していきたいと考えています。

岩瀬委員 防災については、この家族防災会議を推進するために防災手帳の作成を考えていますが、3.11からもう4年の月日が流れようとしていて、だんだんと災害に対する危機感が薄れてきていると感じます。震災などが起こった直後は皆さん危機感を持っているけれど、時間が経つと意識が薄れてきてしまうので、家族防災会議の推進は非常に大事だと考えています。

埜瀬委員 2月8日に開催された外国人向けの防災フォーラムのときに、ベトナムとフィリピンの方が来ていたが、通訳の方がいたのでコミュニケーションがと

れ、外国人の方もとても喜んでいました。川崎区には様々な国の人々が住んでいるので、「防災手帳」も様々な国の言葉のものをつくって配布したいと思いました。

新井副委員長 部会同士の連携で、実現していければ良いと思います。

石渡委員 「自主防災組織」のあり方の検討について、活動が進んでいる町内会はいいますが、遅れている町内会もたくさんあり、どうすれば「自主防災組織」を推進できるかと考えている町内会もあり、なかなか活動に結びつかないことも多いと思います。そういった町内会を含めた形で、こうした議論に巻き込むようなことを区民会議がやっていくことはできないかと考えています。

つまり、区民会議の成果として、これがモデルなので町内会の皆さんどうぞ作って下さいということではなく、結果が出る前に様々な町内会と議論をしてつくっていくという視点も考えられるし、特に防災に関しては、何かをつくるのが目的ではなく、つくっていくプロセスが重要だと思います。この区民会議に地域を巻き込んでいくような進め方ができれば良いと感じました。

原田委員 この「東大島あんしんマップ」は、平成8年に私が中心となって地域の皆でつくったものです。町内会が中心となり、地域住民を巻き込みながら進めていきました。つくってみて様々な発見や反省が出てくるので、とにかく会議だけでなく、実践して活動することが重要です。

赤間委員 お聞きしたいのですが、その「東大島あんしんマップ」を作成した当時から町内会長は変わられていると思いますが、そのマップの更新などは行っていないのでしょうか。

原田委員 更新もされていないし、自主防災組織もあまり機能していないのが現状です。

畑委員 町内会には、何十年も前の昔から自主防災組織はあります。行政が絡んで活発に活動をし始めたのは、ここ最近のことです。それは非常に良いことだと思いますが、自主防災組織自体があまりまとまっていないような状況もあるし、何をやっていくのかということもあまりはっきりしていない部分もあり、活動も単発的なものが多いと思います。

自主防災組織のあり方を検討していくことは良いと思いますが、絵に書いた餅ではダメで、形としての組織だけでなく、しっかりと機能する仕組みを検討してもらいたいと思います。

北沢副区長 地域を育むまちづくり部会では、危機管理担当職員が部会に出席して現状の自主防災組織についてご説明をさせていただいています。

自主防災組織の連絡協議会があるので、そのような組織を利用したり、連動していくような方法を考えたりしていくことが大切かと思えます。また、実際に活動が上手くいっていないところに目を向けることも必要かと考えます。

(子どもの遊び場づくりについて)

朴委員 子どもがたくさん遊んでいる公園は賑やかですが、例えば、立地的にあまり人が多くない公園だと、暗くてマイナスイメージがあります。そういった公園を活用したり、目立つように看板を設置したり、多くの人に使われるような取組を推進してほしいと思えます。

岩瀬委員 子どもの遊び場づくりについては、公園のことを考えていく方向性になったが、公園は、子どもの遊び場としての機能だけでなく、防災に役立つこともあるし、子どもの心と体を成長させてくれる場所だと思えます。富士見公園を見てみると、今は、昔よりもだいぶキレイになったと思うが、子どもの遊び場という視点で見ると、遊具がみすぼらしいなどの課題もあると思えます。区民会議交流会で、区民会議の存在を皆さんに知っていてもらうにはどうしたらよいかという議論もありましたが、やっているという呼びかけだけでなく、ここがこう変わった、これは区民会議で実施したといった実感のできる区民会議でありたいと思うので、実践していければ良いと思えます。

新井副委員長 やはり結果が出るのが大事だと感じます。1つでも2つでも、形になる取組ができれば良いです。

<くだれもがいきいき暮らす部会について>

(地域における見守り活動の充実)

山田委員 高齢者の見守り活動の調査ですが、民生委員も様々な活動や取組をしているので、連携が必要だと思えます。

埜瀬委員 調査対象に高齢者とあるが、民生委員では75歳以上の方を対象にしています。この高齢者は何歳以上を対象にしていますでしょうか。

畑委員 詳細はまだ決めていませんが、高齢者だけでなく介護保険の対象になるような方々も考えていきたいと思えます。

埜瀬委員 地域包括センターと民生委員の集まりで、見守りは65歳以上から必要ではないかというご意見もありました。

畑委員 これからの検討課題だと思えます。また、実態調査は、見守り活動を行っている団体に実施するので、その各団体によって対象者は変わると思えます。そういったことも調査で明らかにしていければ良いと思えます。

もりわきいん わたし ろうじんくらぶ ぞく ぞく ろうじんくらぶ みまも かつどう おこな
森脇委員 私は老人クラブに属して、老人クラブでも見守り活動を行って
いますが、見守り活動を行っている団体の調査は、それぞれの団体がどのよ
うな方々を対象にしてどのような活動を行っているのかということをお明ら
かにするためのものです。各団体がそれぞれ活動をしていて、それぞれがどの
ような連携の仕方をしているのか、全然見えてこないし、そういったことも含
めてもっと総括的に把握して、協力していければと考えています。

また、それぞれの団体が持っている情報はその団体でしか使えないという
個人情報保護の問題があると思います。そのため、各団体の連携は非常に難
しいかもしれませんが、実態調査をする中で、何が問題なのかを見極めて、解決
策の方向性が見えればいいです。

ふかせいん さいきん ちょうかい そしき か はじ わたし かいちょう
深瀬委員 最近では、町会の組織も変わり始めています。私が会長をやっ
ている町会では、戸建てに住んでいる世帯が10件程度で、残りは全てマンション
です。また、ワンルームマンションも多く、町会そのものの存続も危ぶまれ
ているし、向こう三軒両隣の実現は相当、難しい現状です。駅前だとほと
んど店舗なので住んでいる人自体も少なく、お神輿を担ぐ人員もいなくて、お
祭りも参加できない町会もあります。そのため、隣り合った町会同士が行事
の時にだけ合同で開催するといったこともやっています。単身者が多いので、
子どもももちろん少ないので、子ども会は休止中であるし、青年会も4つや
5つの町会がまとまって会を作っている状況です。

町会の活性化に向けた調査といっても、今までの町会の考え方では成り
立たないと思います。今後、5年後、10年後、行事だけでなく、町会自体合併
することも可能性があると考えています。

ぼくいん わたし ちょうかい まんしよん おお こ も わか おや
朴委員 私がいる町会もマンションが多く、子どもを持っている若い親も
町会に入らない家庭が多いと思います。これに関しては、今までの考え方を
変えて、取組をしていかなければいけないと感じました。

こそだ とお せだいかんこうりゅう (子育てを通した世代間交流について)

あらいん かず いいん しんぎ てーま こそだ とお せだいかんこうりゅう だい
新井(一)委員 審議テーマ2の「子育てを通した世代間交流」について、第4
期のときに大師地区で行われた情報交換会を傍聴しました。各団体の方が
出席されて、課題や問題点などを議論されて、とても勉強になった記憶があ
ります。今後も継続して、開催していくことはとても良いと思います。また、
田島地区でも開催を検討とのことですので、是非お願いしたいです。私も子
ども関係の団体にネットワークがあるので、その時はお手伝いしたいと思います。
よろしくお願ひします。

塚原委員 大師地区での第2回目の開催は、前向きに捉えてもよろしいでしょうか。

石渡委員 少し空白期間があるので難しいかと考えていますが、最初に立ち上げた時から事務局をどうするのかといった問題がなかなか解決されていません。結論としては、平成27年5月に開催する予定です。一応事務局として、こども文化センターの館長さん、スポーツ推進委員会の委員長さんなどを中心として考えています。第1回では参加できなかった団体にも声をかけて取組を進めているところです。

塚原委員 昨年の参加者の方から次もやってほしいという声もあったし、昨年の開催から1年以上経ってしまったので、今年はもうないのでしょうかという声も頂いているので、是非進めてほしいと思います。

戸村委員 情報交換会は私も前回のものに出席させていただいたが、この会をやると問題や課題がたくさん出てきて、それに応えないと意味が無いと思います。議論の場だけでなく、各団体の取組にもつながるような活動もしていくべきだと思います。

(外国人市民も暮らしやすいまちづくりについて)

中村委員 先日の外国人向けの防災フォーラムに参加させていただきました。参加された外国人市民の方々も非常に喜んでおり、良かったです。また、先日視察した識字学級でも、鶴見から来ている方もいて、外国人向けのイベントと識字学級の連携なども図れると面白いと思います。

(全体について)

朴委員 区民会議について、現在第5期で、もうすぐ10年になるので、来年度、再来年度の話になるかもしれませんが、一旦ここで振り返りの場を持って、今までの取組を再確認して、今後について様々な議論ができるといいと考えています。

(2) 区民会議フォーラムについて

平成27年2月28日(土)に開催する区民会議フォーラムについて、「資料4：区民会議フォーラムについて」および「資料4-1：区民会議フォーラム報告用スライド(案)」を使用し、事務局が説明した。

(3) 区民会議中間報告書(案)について

平成27年3月に第5期の前半の1年をまとめる区民会議中間報告書について、「資料5：区民会議中間報告書について」及び「資料5-1：区民会議中間報告書(案)」を使用し、事務局が説明した。

4 閉会

出席された参与からコメントを頂いた。コメントの内容は以下のとおり。

飯塚参与 皆さん、大変熱心な討議お疲れ様でした。皆さんのご意見を参考にしながら、これから始まる議会に臨んでいきたいとおもいます。また、先日、公園に中学生が夜な夜なたむろしていて、抑止力として防犯カメラの設置をできないかという相談があり、危機管理担当課長にお願いをしました。管轄が警察であるとのことでしたが、人があまり寄り付かない公園もあるので、より良い公園づくりのためにもどうぞよろしくお願ひしたいとおもいます。

浜田参与 とても意見が多く出て、非常に勉強になりました。市議会でも海拔表示の議論をしたことがあったのですが、区民会議の皆さんはそれを形にしたとのことで大変素晴らしく感じています。今後ともよろしくお願ひします。

■閉会宣言

午後8時20分閉会

(以上)